



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社駐車場総合研究所

コード番号 3251 URL <http://www.pmo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 柳瀬 聡

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営管理本部長 (氏名) 加藤 隆行

TEL 03-3406-2477

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	2,734	6.9	82	△20.4	78	△21.3	39	△22.0
25年3月期第2四半期	2,559	16.0	103	75.6	99	73.4	50	102.5

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 46百万円 (△7.8%) 25年3月期第2四半期 50百万円 (131.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	5.27	5.12
25年3月期第2四半期	6.94	6.76

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
26年3月期第2四半期	1,936		858		43.3	
25年3月期	1,971		829		41.0	

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 838百万円 25年3月期 807百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円 銭	
25年3月期	—	—	—	3.90	円 銭	3.90
26年3月期	—	—	—	—	円 銭	—
26年3月期(予想)	—	—	—	3.90	円 銭	3.90

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,800	10.9	210	4.6	200	5.3	100	3.5	13.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	8,315,700 株	25年3月期	8,189,100 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	749,140 株	25年3月期	749,140 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	7,506,932 株	25年3月期2Q	7,294,731 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
・当社は、平成25年11月25日(月)に機関投資家及び証券アナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定であります。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権下の景気刺激策による円高修正に伴う企業収益の回復や消費税増税を見越した駆け込み需要による国内消費の活性化等、景気回復の兆しが見られる状況になりました。

当社グループの属する駐車場業界は、国内におきましては、ガソリンの価格高騰が続くものの、昨年9月のエコカー補助金終了の反動減の影響が薄れ、軽自動車を中心とした新車販売台数が増加したことに連動し、駐車場稼働率は増加傾向にあります。

中国における駐車場業界におきましては、中国国内における経済の減速傾向が続いておりますが、新車販売台数や保有台数は堅調に増加し、駐車場供給台数の慢性的不足が継続しております。そのため、不動産オーナーの駐車場への関心、駐車場の有効活用やサービスの改善等を目的としたコンサルティング需要は高まりつつあります。

このような環境の中、当社グループの経営方針と致しましては、成長の加速化を図るため、国内においては、引き続き「既存駐車場の更なる品質向上」、国内市場の深耕を目的とした「未出店マーケットへの積極的進出」、同業他社との差別化をより一層強化するための「研究開発力の強化」、中国においては、中国全土を対象とした事業スキームの構築に注力するため、国内及び中国における営業人員や駐車場スタッフ、更には管理人員の拡充を行ってまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は2,734,398千円（前年同四半期比6.9%増）、営業利益は82,420千円（前年同四半期比20.4%減）、経常利益は78,199千円（前年同四半期比21.3%減）、四半期純利益は39,532千円（前年同四半期比22.0%減）となりました。

セグメントの業績につきましては、当社グループは駐車場事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

これに代わる事業部門別の業績の概況は以下のとおりです。

〔駐車場管理運営事業〕

日本国内におきましては、当社における事業規模が拡大する中、従来の品質維持や更なる品質の向上を目的とし、新たな駐車場スタッフの拡充を行うと共に、駐車場オーナーや利用者のニーズに応えるべく様々な施策を取り入れてまいりました。

また、契約満了に伴い複数の駐車場解約が発生しておりますが、営業人員の拡充や組織体制を変更することで社内営業体制を強化し、従来の関東及び関西の大都市圏を中心とした営業活動に加え、政令指定都市を中心とした未出店マーケットに積極的に進出するための営業活動に注力した結果、新たに札幌、名古屋、福岡に出店しており、関東及び関西の大都市圏においても新規現場の獲得件数は堅調に増加しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間において、29現場1,314車室及び駐輪場1現場42車室の新規現場の獲得となりました。

中国国内における駐車場管理運営業務については、現状、上海市及び天津市において2現場1,042車室が稼働しており、駐車場管理運営の安定稼働、営業展開に向けた様々な取り組みを行い、今後の中国市場における駐車場管理運営業務の基本体制の確立を目的とした活動に注力しております。

また、設計段階より派盟静態交通技術開発(天津)有限公司がコンサルティングで携わった「天津金之谷大厦地下駐車場」(435車室)(※)を中国3号店として獲得しております。

以上の結果、駐車場管理運営事業全体として、前連結会計年度において獲得した駐車場現場の本格稼働、当第2四半期連結累計期間に受注した稼働車室の増加により、売上高は2,715,394千円(前年同四半期比6.6%増)となりました。

(※) 2013年オープン予定

[コンサルティング事業]

日本国内におけるコンサルティングにおきましては、競争が激化する中、他社との差別化を実施し、新規現場獲得のためのプロポーザル活動を中心に業務を展開してまいりました。

中国国内におけるコンサルティングにおきましては、近年の新車販売台数の爆発的増加に伴う自動車利用の著しい増加から駐車場に関する意識が向上し、駐車場の有効活用やサービスの改善等、駐車場コンサルティング需要が高まっており、当第2四半期連結累計期間におきましても大型駐車場のコンサルティングを受注しております。

この結果、平成25年9月30日現在の受注残高は15,095,500人民元(日本円換算約241百万円)となりました。

しかしながら、中国における大型駐車場のコンサルティングは検収まで2年以上を要する長期的な案件が多いため、当第2四半期連結累計期間においてコンサルティング売上の計上には至っておりません。

以上の結果、コンサルティング事業全体として、売上高は19,004千円(前年同四半期比65.1%増)となっております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は1,936,686千円(前連結会計年度末比34,423千円の減少)となりました。主な要因は現金及び預金の減少152,694千円、投資有価証券の増加101,214千円、仕掛品の増加11,078千円等によるものであります。

負債の残高は1,078,254千円(前連結会計年度末比63,462千円の減少)となりました。主な要因は未払金の減少43,227千円、未払法人税の減少25,112千円等によるものであります。

純資産は858,431千円(前連結会計年度末比29,039千円の増加)となりました。これは主として四半期純利益の計上39,532千円による増加、新株予約権の行使に伴う資本金等の増加14,721千円、配当金29,015千円の支払等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の通期の業績予想につきましては、平成25年5月13日公表の連結業績予想に変更はありません。

なお、平成26年3月期第2四半期（累計）の連結業績予想と実績値に差異が発生しております。詳細につきましては本日公表の「平成26年3月期第2四半期（累計）連結業績予想数値と実績値との差異に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	690,005	537,311
売掛金	110,742	117,985
仕掛品	15,538	26,617
前払費用	148,854	158,620
その他	38,050	29,994
流動資産合計	1,003,190	870,529
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	262,355	255,452
機械及び装置(純額)	164,513	175,578
リース資産(純額)	54,237	36,677
その他(純額)	167,091	166,218
有形固定資産合計	648,197	633,927
無形固定資産	25,070	31,347
投資その他の資産		
投資有価証券	100	101,314
敷金及び保証金	204,811	208,769
保険積立金	72,982	72,982
その他	16,757	17,816
投資その他の資産合計	294,650	400,883
固定資産合計	967,918	1,066,157
資産合計	1,971,109	1,936,686

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	63,232	63,232
リース債務	36,713	32,168
未払金	169,354	126,126
未払法人税等	64,655	39,543
前受金	159,729	209,230
預り金	281,620	292,382
その他	54,358	49,161
流動負債合計	829,664	811,844
固定負債		
長期借入金	243,076	209,800
リース債務	25,727	10,799
退職給付引当金	30,634	33,910
資産除去債務	11,300	11,350
その他	1,314	549
固定負債合計	312,052	266,410
負債合計	1,141,717	1,078,254
純資産の部		
株主資本		
資本金	168,766	176,127
資本剰余金	148,186	155,547
利益剰余金	553,995	564,511
自己株式	△66,040	△66,040
株主資本合計	804,908	830,145
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	3,056	8,562
その他の包括利益累計額合計	3,056	8,562
新株予約権	9,894	6,567
少数株主持分	11,532	13,156
純資産合計	829,391	858,431
負債純資産合計	1,971,109	1,936,686

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	2,559,009	2,734,398
売上原価	2,129,521	2,286,240
売上総利益	429,487	448,158
販売費及び一般管理費	325,894	365,738
営業利益	103,593	82,420
営業外収益		
受取利息	84	74
投資事業組合運用益	—	1,221
その他	157	494
営業外収益合計	241	1,789
営業外費用		
支払利息	4,111	3,307
為替差損	253	2,358
その他	124	343
営業外費用合計	4,488	6,010
経常利益	99,346	78,199
特別利益		
投資有価証券売却益	1,000	—
特別利益合計	1,000	—
特別損失		
固定資産除却損	271	—
特別損失合計	271	—
税金等調整前四半期純利益	100,074	78,199
法人税、住民税及び事業税	47,210	33,222
法人税等調整額	3,214	5,594
法人税等合計	50,425	38,817
少数株主損益調整前四半期純利益	49,649	39,382
少数株主損失(△)	△1,004	△150
四半期純利益	50,653	39,532

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	49,649	39,382
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	982	7,279
その他の包括利益合計	982	7,279
四半期包括利益	50,632	46,661
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	51,400	45,037
少数株主に係る四半期包括利益	△768	1,624

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。